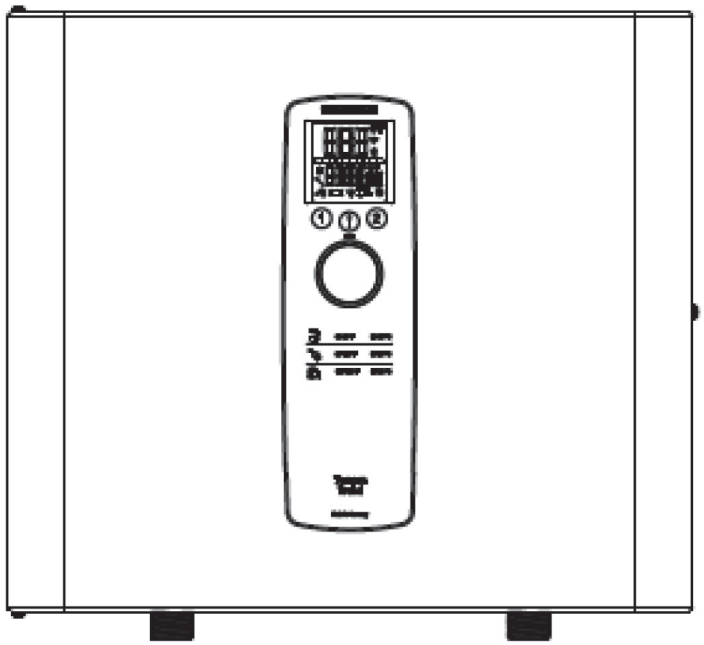
STIEBEL ELTRON

瞬間式電気温水器

取扱説明書

（取付説明書、保証書付）

型　名……●Tempra 8 Plus
●Tempra 10 Plus
●Tempra 13 Plus
●Tempra 16 Plus
●Tempra 20 Plus
●Tempra 25 Plus



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
● ご使用前にP.1「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
● この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができるところに保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目次]

●取扱説明書

1. 安全上のご注意 …… 1
2. 特長 …… 3
3. 各部のなまえと外形寸法 …… 4
   3－1. 各部のなまえ …… 4
   3－2. 外形寸法 …… 4
4. 使い方 …… 5
   4－1. 使用前の準備 …… 5
   4－2. ご使用方法 …… 6
   4－3. プリセット温度の変更方法 …… 8
   4－4, 長期間使用しないときは？ …… 8
   4－5. 表示内容の変更のしかた …… 8
      4－5－1. 設定内容一覧と設定変更モードへの入り方 …… 8
      4－5－2. 給湯温度設定の上限の変更 …… 9
      4－5－3. 温度表示の切り替え …… 10
      4－5－4. 流量表示の切り替え …… 10
      4－5－5. チャイルドロックの設定 …… 11
      4－5－6. 設定のリセット …… 12
      4－5－7. バックライトの設定 …… 12
      4－5－8. バックライトの明るさの変更 …… 13
5. 日常の点検とお手入れ …… 13
6. 故障かな？と思ったら …… 14
7. 点検及び修理について …… 15
8. 仕様 …… 16

●取付説明書

1. 安全上のご注意 …… 18
2. 各部のなまえ …… 21
   2－1. 内部部品のなまえ …… 21
   2－2. 付属部品 …… 21
3. 事前準備 …… 22
4. 機器の設置工事 …… 23
   4－1. 機器の固定 …… 23
   4－2. 配管接続 …… 24
   4－3. 配線接続 …… 25
      4－3－1. 単相配線の接続方法 …… 25
      4－3－2. 三相配線の接続方法 …… 26
5. 試運転 …… 27
   5－1. 検査項目 …… 27
   5－2. 引き渡し前検査記録表 …… 28
   保証書 …… 29

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	**注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止マーク	してはいけないことを示します。
注意マーク	注意することを示します。
指示マーク	必ず行うことを示します。

警告

禁止

絶対に改造はしないでください。

機器に取り付けられている配管は、絶対に取り外さないでください。

濡れた手で機器を操作しないでください。

機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。

機器の近くで、油の取り扱い、ガス類等の可燃性物質や、爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。

機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物を置かないでください。(離隔距離は、機器の安全な動作のための距離であり、周辺の壁紙や棚などの変色・変形などの防止を保証するものではありません。)

	上面	下面	左面	右面	前面
離隔距離	≧130mm	≧130mm	≧130mm	≧130mm	≧500mm

前面パネルを開かないでください。

水道法の水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。

注意

使い始めや、出湯時に瞬間的に熱湯が出る場合があります。

指示

機器に異常が発生した場合は、機器の電源をOFFにし、機器のブレーカを「切」（OFF）にして日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

アース工事、漏電遮断器設置工事が適正に行われていることを確認してください。

漏電遮断器が働いた場合は、機器の使用を停止して日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

機器がしっかりと壁面に固定されていることを確認してください。

機器は、必ず定期的に点検（P．１３「5．日常の点検とお手入れ」参照）をしてください。

震災等で万が一落下した場合は、下記の各項目を実施の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

①機器のブレーカを「切」（ＯＦＦ）にしてください。
②建物が揺れている間や、機器が傾いている間は機器に近づかないでください。
③機器の上に落下物がある場合は、取り除いてください。
④水道の元栓を止めてください。

子供や身体に障害がある人が操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

注意

禁止

機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。

機器と壁の間に物を挟まないでください。

給水の元栓を止めた状態ではブレーカを「入」（ＯＮ）にしないでください。

給湯中、またはその直後は、配管部分が高温になっておりますので直接触れないでください。

機器や配管に長時間溜まった水や、朝一番のお湯は、飲んだり調理に使用したりしないでください。
（雑用水としてご使用ください。）

硬水や、ミネラル成分の多い水を機器に給水しないでください。

注意

点検清掃をする場合は、怪我をしないように気を付けてください。

指示

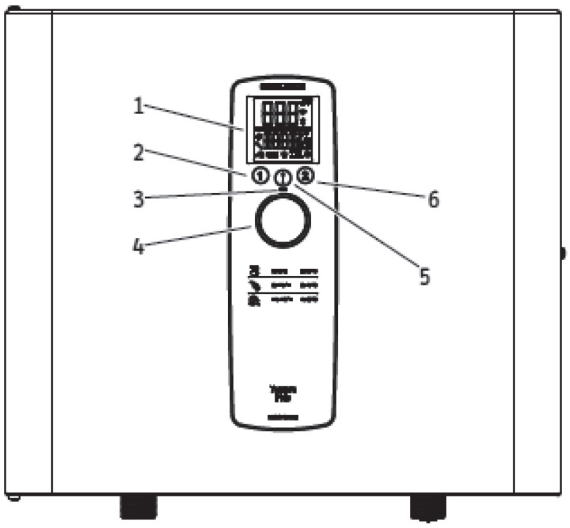
- 長期間使用しない場合や、凍結の恐れがある場合は、事前に水抜きをしてください。
- 給水の元栓を開いた直後は、機器のブレーカを「入」（ON）にする前に、気泡が出なくなるまで、かつ６０秒以上水を流してください。
- 断水直後等で給水が濁っている間は、使用を控えてください。
- 給水温度は、0℃～５５℃未満としてください。
- 定期的に給水接続口の清掃を依頼してください。
- 機器を覆うようなものを設置しないでください。
- 機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。
- 本取扱説明書に付属している保証書に所定の事項が記入され、捺印があることを確認してください。
- 機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。
- 機器の設置、並びに移設を行う場合は、必ず専門業者に依頼して行ってください。

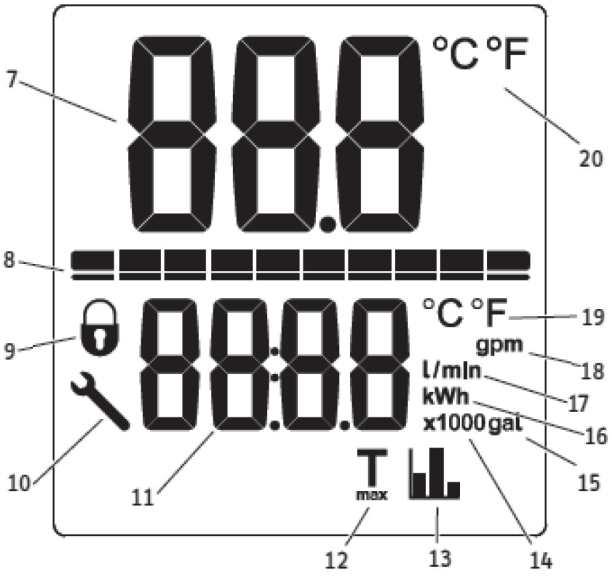
2. 特長

Tempra Plusシリーズ（以下、機器と表記）は個人住宅、集合住宅、商業施設等でご使用いただける瞬間式電気温水器です。貯湯タンクを必要とする従来のエコキュート、貯湯式電気温水器と異なり大容量の貯湯タンクが不要なため、必要な時に必要な量の温水をご使用いただけます。また、貯湯を行わないため、待機時のエネルギーロスを抑えられる省電力機器です。
さらに、大容量の貯湯タンクがないため設置場所の制約が少ない機器です。
なお、瞬間式のため、吐出される温水や、水は飲用や調理用に使用できます。ただし、機器や配管に長時間滞留した水や、朝一番に吐出される水については、飲用・調理用途には使用しないでください。

3. 各部のなまえと外形寸法

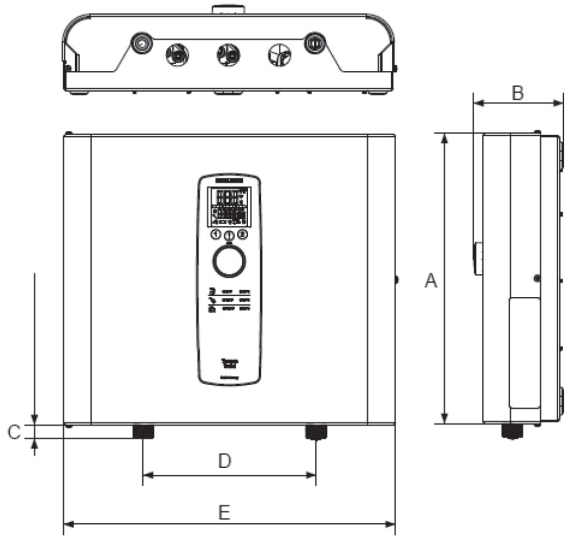
3−1. 各部のなまえ





１：ディスプレイ
２：プリセットボタン１
３：通電ランプ
４：温度調節ダイヤル
５：メニューボタン
６：プリセットボタン２
７：メインディスプレイ
８：通電ゲージ
９：チャイルドロック表示
１０：エラー表示
１１：サブディスプレイ
１２：温度制限表示
１３：省エネ表示
１４：値の１０００倍を表示
１５：ガロン表示
１６：電力表示
１７：流量表示（L／min）
１８：流量表示（Gallon／min）
１９：サブディスプレイの温度表示
（摂氏「℃」 華氏「℉」）
２０：メインディスプレイの温度表示
（摂氏「℃」 華氏「℉」）

3−2. 外形寸法



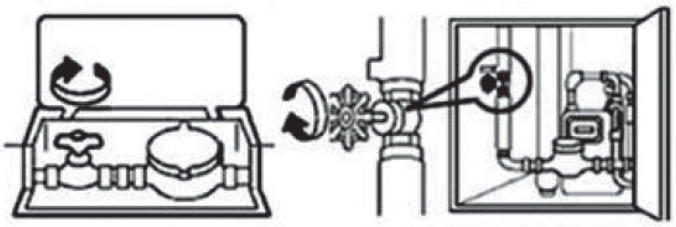
A：３６９mm
B：１１４mm
C：１８mm
D：２２０mm
E：４２０mm

4. 使い方

4−1. 使用前の準備

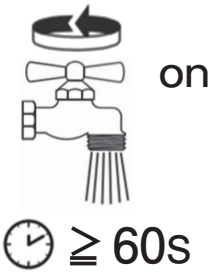
①給水の元栓を「開」にします。

元栓例（現場により異なる場合があります。）



戸建ての住宅の元栓　　マンションの元栓

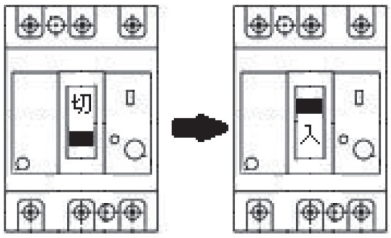
②機器のブレーカが「切」（ＯＦＦ）の状態で、機器が接続してあるお湯側の蛇口を開き、気泡が出なくなるまで、かつ６０秒以上水を流します。



おねがい

●給水の元栓を「閉」にした場合や、断水等、機器への給水が一時的に停止した後は、必ず②項を実施してください。

③機器のブレーカを「入」（ＯＮ）にします。

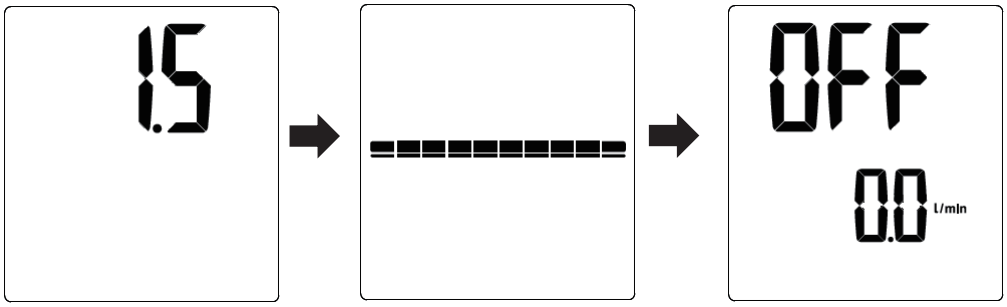


ブレーカ：例

おねがい

●機器のブレーカの設置場所等は、施工業者にご確認ください。

④ディスプレイが点灯して、下図のとおり標準表示になります。



標準表示

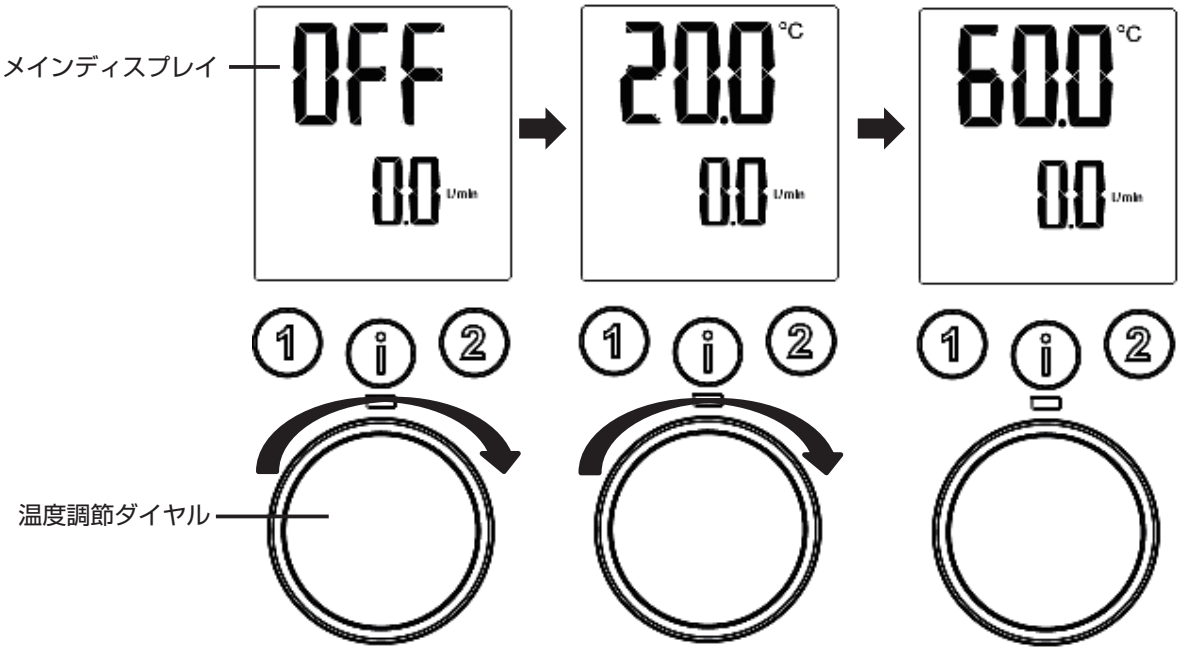
MEMO

●Tempra10Plus、Tempra13Plus、Tempra16Plusは、ブレーカが２個付いている場合があります。必ず、両方のブレーカを「入」（ＯＮ）にします。

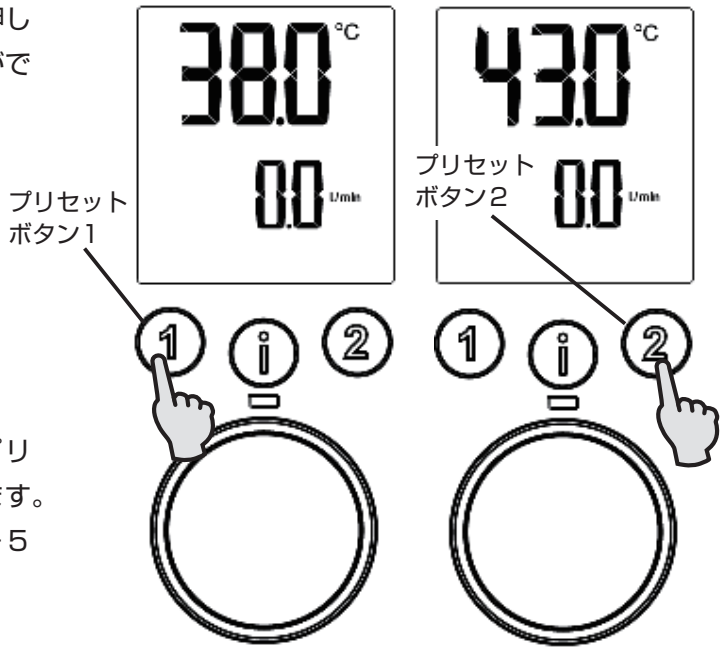
●Tempra20Plus、Tempra25Plusは、ブレーカが３個付いている場合があります。必ず全ての機器のブレーカを「入」（ＯＮ）にします。

4−2. ご使用方法

①温度調節ダイヤルを回すと、設定温度がＯＦＦ、２０℃～６０℃の範囲でメインディスプレイに表示されます。



②プリセットボタン１、またはプリセットボタン２を押して、事前に登録されている給湯温度設定にすることができます。



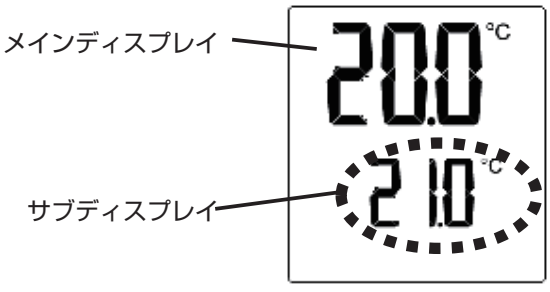
MEMO

●登録されている給湯温度設定は、P.8「4−３．プリセット温度の変更方法」に従い変更することができます。

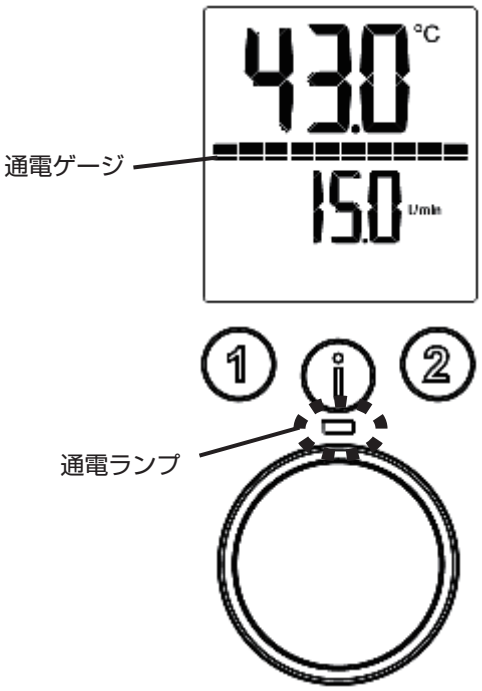
●チャイルドロックが機能している場合（P.11　4−５−５項参照）は、給湯温度設定を変更できません。

MEMO

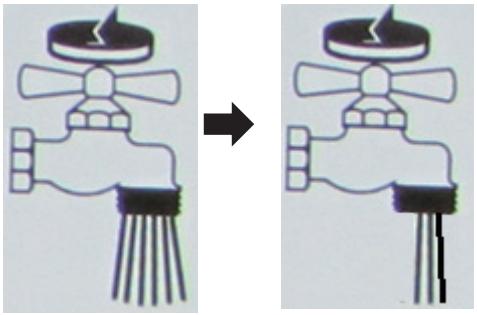
●給水温度より給湯温度設定を低く設定すると、サブディスプレイに給水温度が表示されて点滅します。



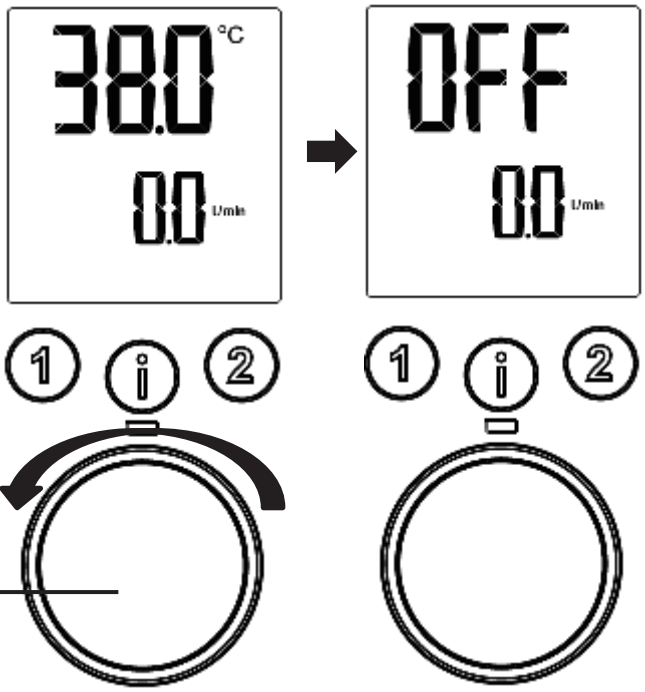
③①、または②の作業後、水栓のお湯側の蛇口を開くことで、通電ランプが点灯し、通電ゲージが表示されて設定した温度のお湯を使用することができます。



④通電ランプが点滅している場合
設定した給湯温度まで温度を上げられない状態です。
以下の対応が必要です。
●蛇口を少し閉じ、給水量を減らす。
●給湯温度設定を下げて使用する。



MEMO
●給湯設定温度はあくまでも目安です。配管の長さやその時の室温により、吐水口で給湯設定温度より低下している場合があります。

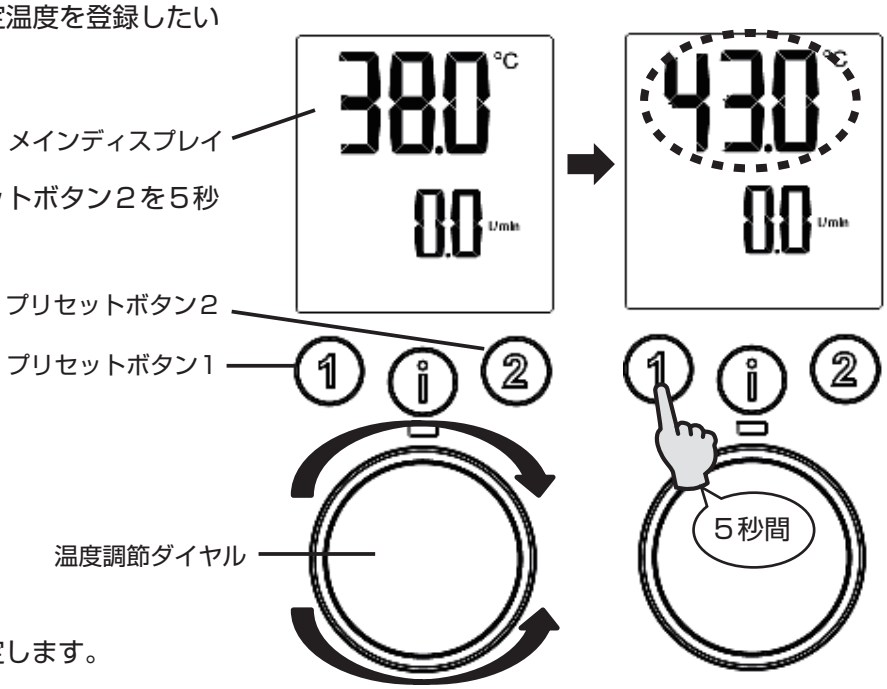


④給湯を停止する場合は、温度調節ダイヤルを反時計回りに回して、ディスプレイの表示をOFFに設定します。

4−3. プリセット温度の変更方法

①温度調節ダイヤルを回して、給湯設定温度を登録したい温度に変更します。

②プリセットボタン１、またはプリセットボタン２を５秒間押し続けます。



③メインディスプレイが点滅すると確定します。

4−4. 長期間使用しないときは？

①機器のブレーカを「切」（ＯＦＦ）にします。
②給水の元栓を閉じます。
③水栓の蛇口のお湯側を開き、水が出ないことを確認の上、閉じます。

おねがい

●凍結の恐れがある場合は、必ず水栓、給水管の水抜きを行ってください。

4−5. 表示内容の変更のしかた

４−５−１．設定内容一覧と設定変更モードへの入り方

（１）設定内容一覧

コード	設定内容	確認項目
Ｐ１	給湯設定温度の上限を設定できます。	Ｐ．９　４−５−２
Ｐ２	温度表示を、摂氏、または華氏に切り替えることができます。	Ｐ．１０　４—５−３
Ｐ３	流量表示を、Ｌ／ｍｉｎ、またはＧａｌｌｏｎ／ｍｉｎに切り替えることができます。	Ｐ．１０　４−５−４
Ｐ４	日本国内では反映されません。	−
Ｐ５	チャイルドロックを機能させます。	Ｐ．１１　４−５−５
Ｐ６	現在の設定を製造時の設定に戻します。	Ｐ．１２　４−５−６
Ｐ７	日本国内では反映されません。	−
Ｐ８	バックライトを常時点灯させるか、無操作時に消灯させるかを切り替えることができます。	Ｐ．１２　４−５−７
Ｐ９	バックライトの明るさを２段階で切り替えることができます。	Ｐ．１３　４−５−８

（2）設定変更モードへの入り方

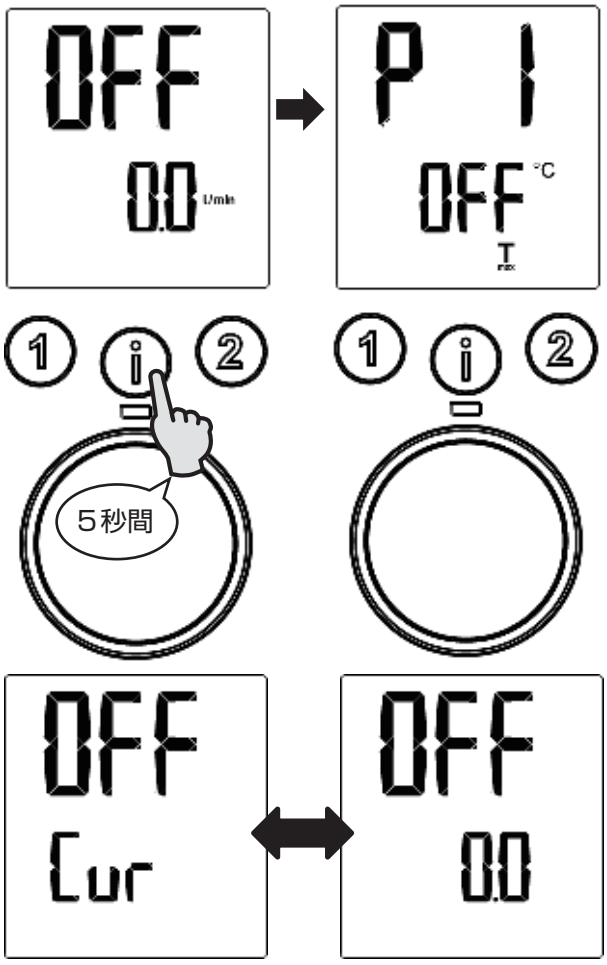
①メニューボタンを５秒間長押しします。

②メインディスプレイに「Ｐ１」と表示されます。

③メニューボタンを押すごとに変更した設定が確定し、「Ｐ ２」→「Ｐ ３」・・・と移動します。

④再度メニューボタンを５秒間長押しするか、２０秒間無操作状態が続くと、標準表示に戻ります。

⑤長押しが不十分な場合や、標準表示に戻るためにメニューボタンを５秒間長押しした場合は、短時間ですが、右記の表示が交互に表示されますが、異常ではありません。



４－５－２．給湯温度設定の上限の変更

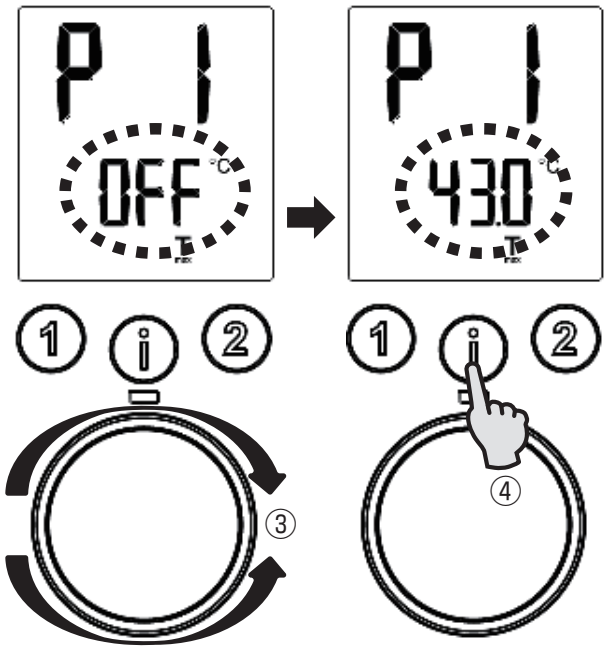
①P.９　４－５－１（２）項に従い、設定変更モードに入ります。

②メニューボタンを押して、メインディスプレイに「Ｐ１」を表示させます。同時にサブディスプレイが点滅します。

③温度調節ダイヤルを回して任意の上限温度（２０℃～６０℃）にします。

④メニューボタンを押すと変更した設定が確定し、「Ｐ２」へ移動します。

⑤メニューボタンを５秒間長押しするか、２０秒間無操作状態が続くと標準表示に戻ります。その際、変更していた数値が確定します。



４－５－３．温度表示の切り替え

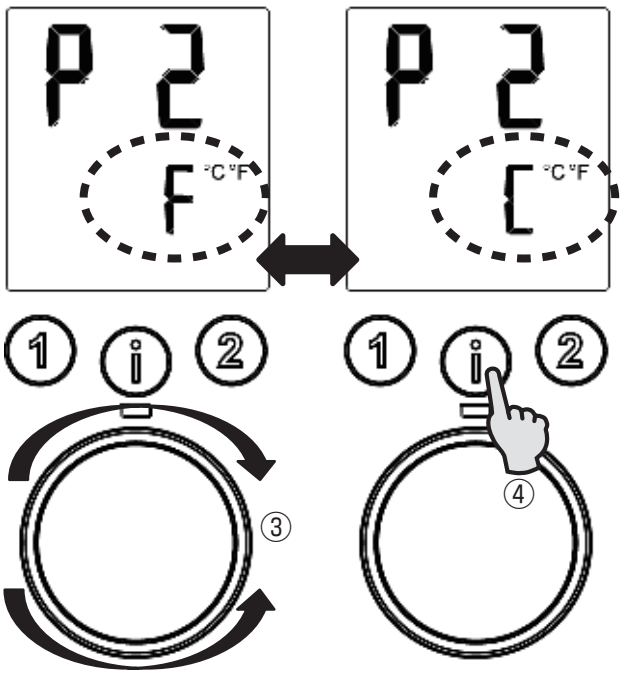
①P.9 ４－５－１（２）項に従い、設定変更モードに入ります。

②メニューボタンを押してメインディスプレイに「Ｐ２」を表示させます。同時にサブディスプレイが点滅します。

③温度調節ダイヤルを回して、温度表示を切り替えます。
「Ｃ」（摂氏表示（単位：℃））
「Ｆ」（華氏表示（単位：℉））

④メニューボタンを押すと変更した設定が確定し、「Ｐ３」へ移動します。

⑤メニューボタンを５秒間長押しするか、２０秒間無操作状態が続くと標準表示に戻ります。
その際、変更していた数値が確定します。



４－５－４．流量表示の切り替え

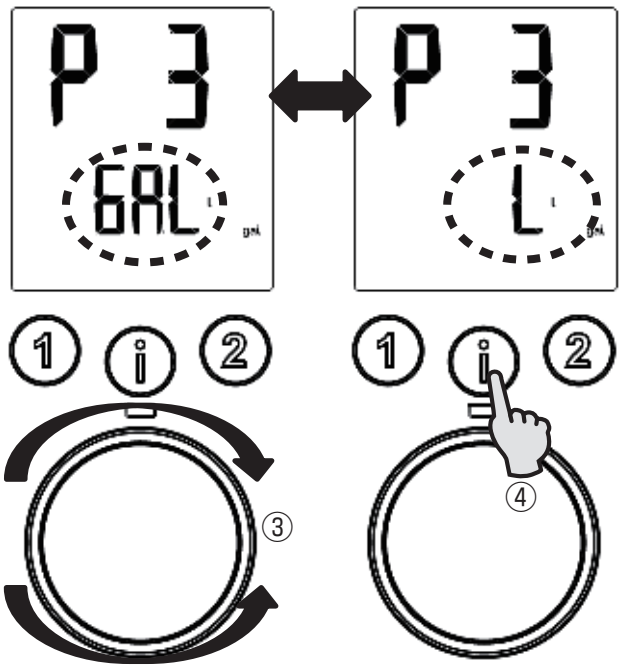
①P.9 ４－５－１（２）項に従い、設定変更モードに入ります。

②メニューボタンを押してメインディスプレイに「Ｐ３」を表示させます。同時にサブディスプレイが点滅します。

③温度調節ダイヤルを回して、流量表示を切り替えます。
「Ｌ」（Ｌ／ｍｉｎ）
「ＧＡＬ」（Ｇａｌｌｏｎ／ｍｉｎ）

④メニューボタンを押すと変更した設定が確定し、「Ｐ４」へ移動します。

⑤メニューボタンを５秒間長押しするか、２０秒間無操作状態が続くと標準表示に戻ります。
その際、変更していた数値が確定します。



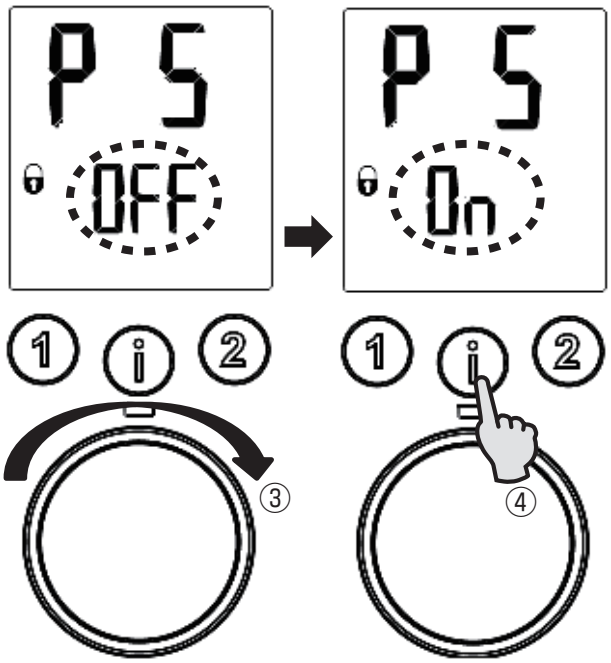
４－５－５．チャイルドロックの設定

①P.9 ４－５－１（２）項に従い、設定変更モードに入ります。

②メニューボタンを押してメインディスプレイに「Ｐ５」を表示させます。同時にサブディスプレイが点滅します。

③温度調節ダイヤルを時計回りに回して、チャイルドロックのＯＦＦ／ＯＮを切り替えます。
「ＯＦＦ」表示：チャイルドロックＯＦＦ
「ＯＮ」表示：チャイルドロックＯＮ

④メニューボタンを押すと変更した設定が確定し、「Ｐ６」へ移動します。

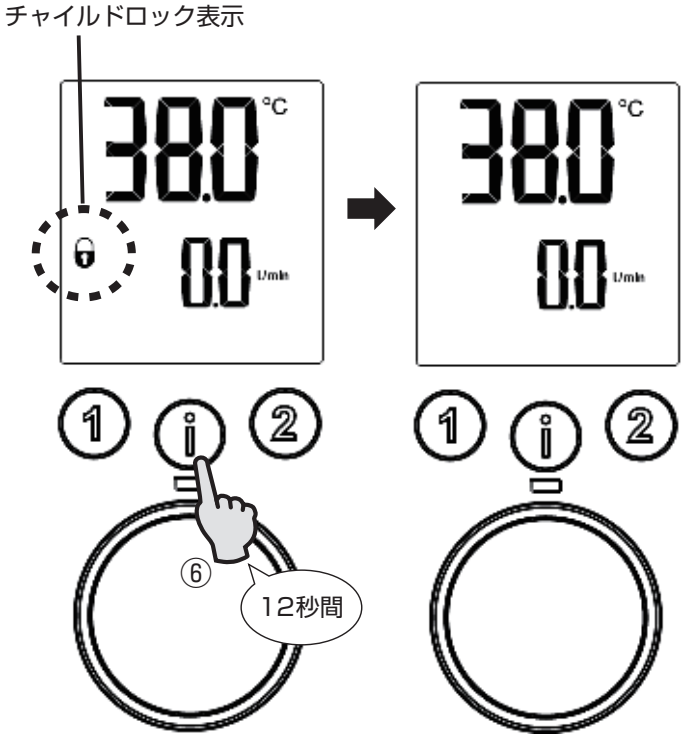


⑤メニューボタンを５秒間長押しするか、２０秒間無操作状態が続くと標準表示に戻ります。
その際、変更していた数値が確定します。

MEMO

●標準表示に戻った後から、チャイルドロックが有効になります。

⑥メニューボタンを１２秒間長押しすると、チャイルドロック表示が消えて、チャイルドロックが解除されます。



4－5－6．設定のリセット

①P.9 4－5－1（2）項に従い、設定変更モードに入ります。

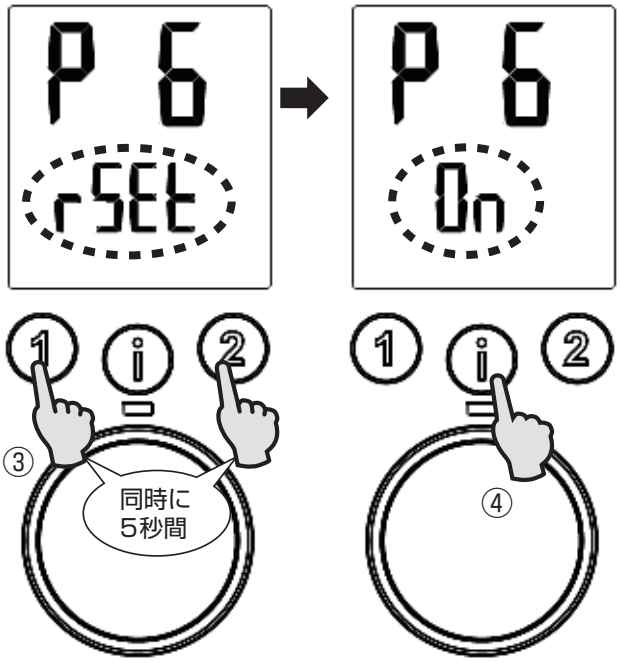
②メニューボタンを押してメインディスプレイに「P6」を表示させます。同時にサブディスプレイが点滅します。

③プリセットボタン1と、プリセットボタン2を同時に5秒間長押しします。
サブディスプレイの表示が「rSet」から「On」に変わります。

④メニューボタンを押すと変更した設定が確定し、「P7」へ移動します。

⑤メニューボタンを5秒間長押しするか、20秒間無操作状態が続くと標準表示に戻ります。
その際、変更していた数値が確定します。

⑥④または⑤で変更を確定すると製造時の初期設定になります。



MEMO

	P1	P2	P3
製造時の初期設定	OFF	F（華氏表示）	GPM（Gallon／min）
日本向けの出荷時の設定	OFF	C（摂氏表示）	L／min

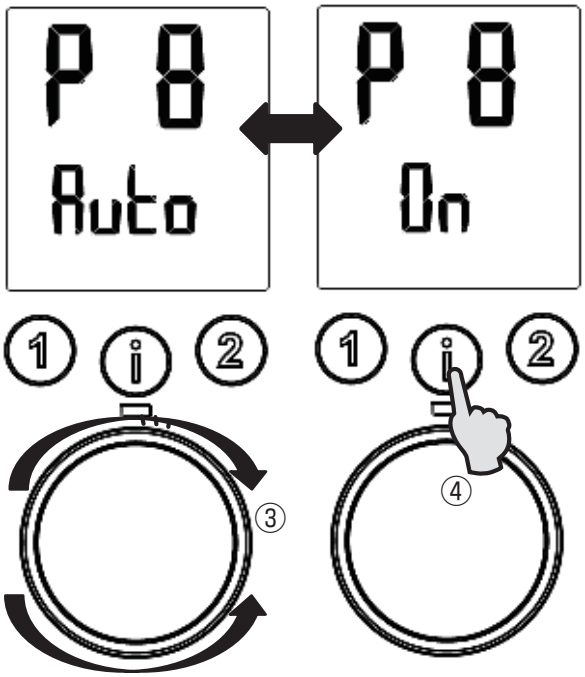
4－5－7．バックライトの設定

①P.9 4－5－1（2）項に従い、設定変更モードに入ります。

②メニューボタンを押してメインディスプレイに「P8」を表示させます。

MEMO

●サブディスプレイに「Auto」が表示されている間は、ディスプレイ全体が点滅します。



③温度調節ダイヤルを時計回りに回して、「On」と「Auto」を切り替えます。
「On」：バックライトが常時点灯
「Auto」：操作していない間はバックライトが消灯

④メニューボタンを押すと変更した設定が確定し、「P9」へ移動します。

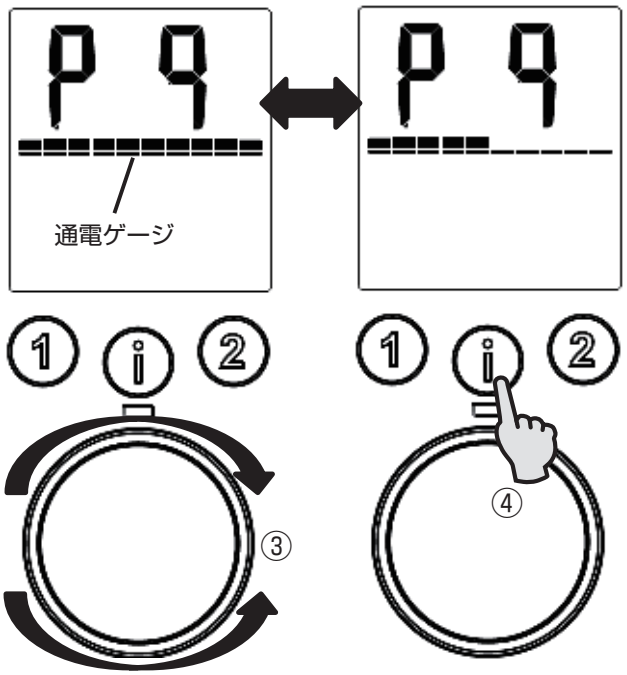
⑤メニューボタンを5秒間長押しするか、20秒間無操作状態が続くと標準表示に戻ります。
その際、変更していた数値が確定します。

４－５－８．バックライトの明るさの変更

①P.9 ４－５－１（２）項に従い、設定変更モードに入ります。

②メニューボタンを押してメインディスプレイに「Ｐ９」を表示させます。

③温度調節ダイヤルを回して通電ゲージの長さを変更します。
通電ゲージが長い：明るい
通電ゲージが短い：暗い



MEMO

●バックライトの明るさは、２段階設定です。

④メニューボタンを押すと変更した設定が確定し、「Ｐ１」へ移動します。

⑤メニューボタンを５秒間長押しするか、２０秒間無操作状態が続くと標準表示に戻ります。
その際、変更していた数値が確定します。

５．日常の点検とお手入れ

製品寿命は水質と使用方法に左右されます。機器本体のメンテナンスは特に必要としませんが、以下の点検とお手入れをおすすめいたします。

①外装の汚れは、乾いた布で拭き取ります。

おねがい

●研磨材や、洗剤等は使用しないでください。

②水漏れ等がないことを確認します。
③給水の元栓が開いていることを確認します。
④元栓が開いている状態で、機器のブレーカが「入」（ＯＮ）であることを確認します。
⑤温度調節ダイヤルの給湯温度設定が高過ぎないか確認します。

おねがい

●定期的に機器の電気部品の安全性、給水接続口の清掃、機器のブレーカが正常に作動するかの確認を工事業者に依頼してください。

6. 故障かな?と思ったら

下記の現象がみられる場合は、初めに機器のブレーカを「切」（ＯＦＦ）にし、再度機器のブレーカを「入」（ＯＮ）にした後に下記の確認項目について処置内容を実施してください。

現　象	確認項目	処置内容	参照ページ
お湯が出ない。	温度調節ダイヤル	給湯温度設定が、お好みの温度に設定されていることを確認してください。	P. 6　4−2
	ブレーカ	機器のブレーカが「入」（ＯＮ）であることを確認してください。	————
	元栓	元栓が開いていることを確認してください。	————
ブレーカが落ちる。	ブレーカ	ただちに使用を停止して、工事業者にご連絡ください。	————
使用したい温度に達しない。	温度調節ダイヤル	設定温度より実際の湯温が低い場合は、給湯温度設定を少し高めに設定してください。	P. 6　4−2
	水栓	複数の水栓でお湯を使用している場合は、一つの水栓のみで使用してください。	————
		単水栓でも設定した給湯温度に達しない場合は、工事業者にご連絡ください。	————
操作できない。	チャイルドロック	ディスプレイにチャイルドロック表示が点灯している場合は、解除してください。	P. 11　4−5−5
水が漏れている。	機器周辺	機器の内部から水が漏れている場合は、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。	P. 15　　7
	水栓、配管	機器の外部で水が漏れている場合は、工事業者にご連絡ください。	————
異音	機器	お湯を出している場合は、若干の音が発生しますので、異常ではありません。お湯を出していない場合は、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。	P. 15　　7
表示	機器	メニューボタンを押して、ディスプレイに表示されるエラーコード（「E 2」または、「E３」等）を確認の上で、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。 「E 2」：給水温度センサー 「E 3」：温水温度センサー	P. 4　　3−1

上記で改善しない場合は、再度機器のブレーカを「入」（ＯＮ）／「切」（ＯＦＦ）して状態が改善しないことを確認の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

7．点検及び修理について

(1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書のP．１４「6．故障かな？と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、お客様ご自身で修理・分解を行わないでください。
下記のＱＲコードから日本スティーベル（株）のＨＰのお問合せフォーム等からご相談ください。

TEL：03-5715-4655

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。
①機種名：保証書、または銘板ラベルに併記
②製造番号：保証書、または銘板ラベルに併記
③不具合の具体的内容：お湯が出ない等の症状、及びご使用条件
④取付け年月日
⑤お名前、ご住所、電話番号

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後７年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

この機器は、取付け日から１年保証です。
保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。
修理を依頼される場合、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。保証期間内であれば、消耗品を除き、保証書の記載内容に基づき無料修理を行います。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

おねがい

- ●お客様ご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。
- ●電気の配線工事、水道の配管工事、機器の設置工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

8. 仕様

(1) 仕様表

型　名		Tempra 8 Plus	Tempra 10 Plus	Tempra 13 Plus	Tempra 16 Plus	Tempra 20 Plus	Tempra 25 Plus
電源電圧	単相	200V　50／60Hz					
	三相	—				200V　50／60Hz	
定格出力 ＊1	kW	8.3	10.1	13.3	16.7	20.0	25.0
定格電流 ＊1	単相 A	41.6	50.5	66.3	83.3	100	125
	三相 A	—				57.8	72.3
ブレーカ容量	単相 A	60	40×2	50×2	60×2	50×3	60×3
	三相 A	—				75	100
号数 ＊2		4.8	5.7	7.6	9.5	11.4	14.3
最大給水温度	℃	55					
給湯温度設定	℃	20 − 60					
質量（満水時）	kg	6.1 (6.6)	7.3 (8.3)	7.3 (8.3)	7.3 (8.3)	8.6 (10.1)	8.6 (10.1)
缶体容量	L	0.5	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5
最低流量	L／min	1.4	1.9	1.9	1.9	2.9	2.9
最大圧力	MPa	1.0					
作動圧力（流動時）	MPa	0.05					
使用圧力（静止時）	MPa	0.05−0.5					
給水／給湯接続口		3／4 NPT					
保護等級		IP × 1					
外形寸法 高さ	mm	369					
外形寸法 幅	mm	420					
外形寸法 奥行	mm	114					
設置場所		屋内					

＊1：定格の許容範囲は±10%

＊2：号数とは、給水温度を＋２５℃温めたお湯を１分間に何リットル供給できるかを表示しています。
単位（L／２５℃ｍｉｎ）

(2) 給湯量の目安（℃）

型　名	給水温度（℃）	給水流量（L／min）			
		5	8	12	20
Tempra　8 Plus	10	33.8	24.8	19.9	15.9
	15	38.5	29.8	24.9	20.9
	20	43.8	34.8	29.9	25.9
Tempra 10 Plus	10	38.5	27.8	21.9	17.1
	15	43,5	32.8	26.9	22.1
	20	48.5	37.8	31.9	27.1
Tempra 13 Plus	10	48.0	33.8	25.8	19.5
	15	53.0	38.8	30.8	24.5
	20	58.0	43.8	35.8	29.5
Tempra 16 Plus	10	57.6	39.7	29.8	21.9
	15	60.0	44.7	34.8	26.9
	20	60.0	49.7	39.8	31.9
Tempra 20 Plus	10	60.0	45.7	33.8	24.2
	15	60.0	50.7	38.8	29.2
	20	60.0	55.7	43.8	34.2
Tempra 25 Plus	10	60.0	54.6	39.7	27.8
	15	60.0	59.6	44.7	32.8
	20	60.0	60.0	49.7	37.8

STIEBEL ELTRON

瞬間式電気温水器
取付説明書

型　名……●Tempra　8　Plus
●Tempra 10 Plus
●Tempra 13 Plus
●Tempra 16 Plus
●Tempra 20 Plus
●Tempra 25 Plus

取付工事店様へ

●この機器は、電気工事、水道配管工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行ってください。

●この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに取付説明書のP．１８「１．安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

●施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願いいたします。

日本スティーベル株式会社

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	**注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止マーク	してはいけないことを示します。
注意マーク	注意することを示します。
指示マーク	必ず行うことを示します。

警告

禁止

- 絶対に改造はしないでください。
- 取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。
- 電源は単相２００Ｖ以外を供給しないでください。ただし、Tempra20Plusと、Tempra25Plusは、三相２００Ｖも供給可能です。
- Tempra20Plusと、Tempra25Plus以外は、三相２００Ｖを供給しないでください。
- 機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。
- 屋外や湿気の多い場所、浴室内には設置しないでください。また、機器に水がかからないようにしてください。
- 機器は凍結の危険がない場所、結露が発生しない場所に設置してください。
- 濡れた手で機器を操作しないでください。
- 機器の近くで、油の取り扱い、ガス類等の可燃性物質や、爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
- 水道法の水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。
- 電気工事、及び配管工事は、資格を持った作業者以外は行わないでください。

指示

内線規程に基づいて、電気工事を実施してください。

D種接地工事、漏電遮断器設置工事が適正に行われていることを確認してください。

過電圧カテゴリⅢに対応するため、2芯の電源ケーブル全てを確実に遮断するブレーカを配線規則に従って使用してください。

スリーブ部の焼損等の原因となりますので、必ず屋内配線と電源ケーブルのサイズに適合した撚線用スリーブを使用してください。

漏電遮断器が働いた場合は、機器の使用を停止して日本スティーベル（株）にお問い合わせください。

電源電圧は、定格電圧の±10%以内であることを確認してください。

ジョイントボックスは、機器側面から１００mm以上離してください。

結線部は、緩みがないよう、端子台との接続部に引っ張り圧力が生じないように配線作業をしてください。

機器は、給水／給湯配管接続口を下方に向けて、機器の満水時の質量に耐えられる補強を行った壁に対して平行に設置してください。

機器を正常に動作させるために、離隔距離を守って設置してください。

	上面	下面	左面	右面	前面
離隔距離	≧130mm	≧130mm	≧130mm	≧130mm	≧500mm

設置地域の火災予防条例に則した離隔距離を取ってください。

前面パネルを開いて配線等の接続や点検をする場合は、電源ブレーカを「切」（ＯＦＦ）にしてから作業してください。

機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡さず日本スティーベル（株）にお問い合わせください。

注意

禁止

設置前の機器は、雨水がかかる場所や雪上、氷上には置かないでください。

機器に接続してある配管や電気部品を外したりしないでください。また、機器の電気部品（交換用電気部品）を他の電気機器に接続しないでください。

給水／給湯配管接続口に衝撃を加えないようにしてください。

機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。

給水の元栓を止めた状態ではブレーカを「入」（ＯＮ）にしないでください。

指示

給水配管には、必ず専用の止水栓、減圧弁、及び逆止弁を接続してください。

給湯配管の長さは、６m以内としてください。

機器の作動圧力（流動時）、使用圧力（静止時）を満たす給水配管に接続してください。

機器の最低流量を十分に確保するように給水してください。

給水配管は、銅管、PEXチューブ、ブレードホースを使用してください。

水の凍結が予想されるところでは、凍結防止処理を施してください。

機器を設置する場所の床面は防水処理を施してください。

引き渡し前には必ず試運転を行い、漏水がないことの確認、絶縁抵抗が正常値であることを確認してください。

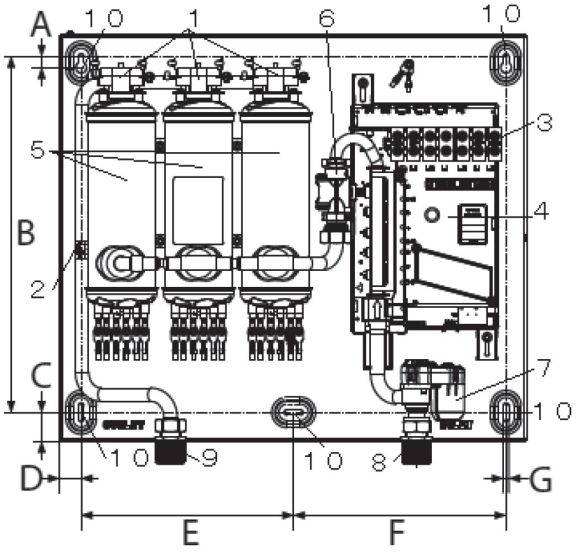
取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、取付け日、製造番号等の必要事項を必ず記入し、お取扱い店、及び取扱者印を捺印してください。

工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行ってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。

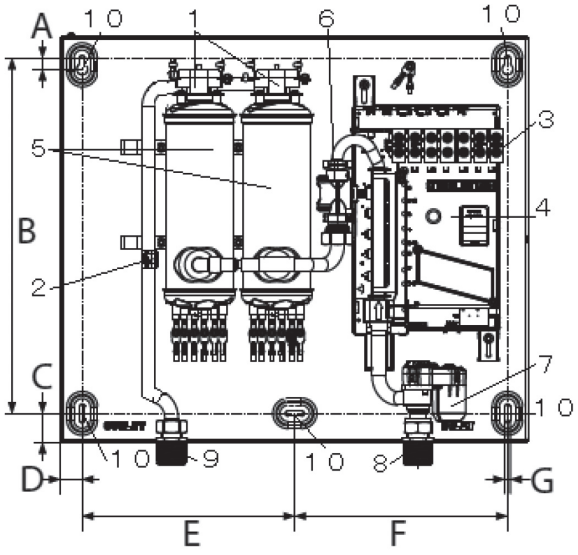
取扱説明書をお客様に保管いただくようにお渡しください。

2. 各部のなまえ

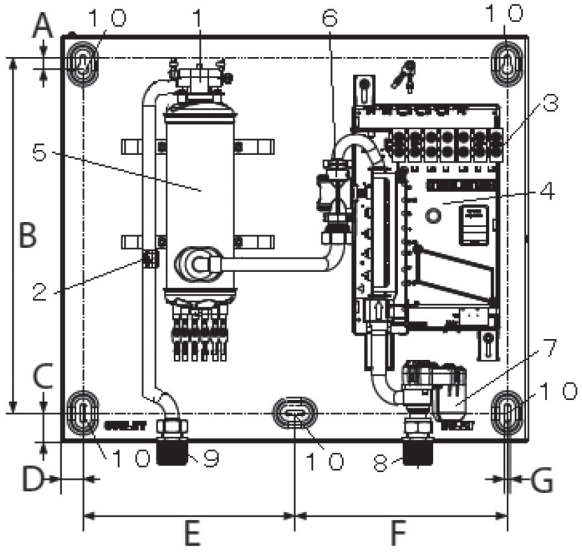
2−1. 内部部品のなまえ



Tempra 20／25 Plus

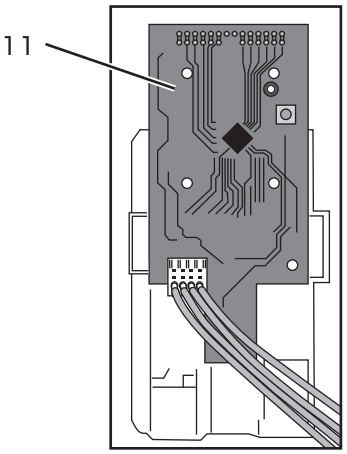


Tempra 10／13／16 Plus



Tempra 8 Plus

1：過昇温防止器
2：温水温度センサー
3：端子台
4：基板ユニット
5：ヒーター
6：フローセンサー
7：流量調整器
8：給水配管接続口
9：給湯配管接続口
10：壁固定用ネジ穴
11：表示部基板



設置寸法

A	10mm	C	26mm	E	190mm	G	5mm
B	318mm	D	20mm	F	190mm		

2−2. 付属部品

取扱説明書・取付説明書 …… 1冊

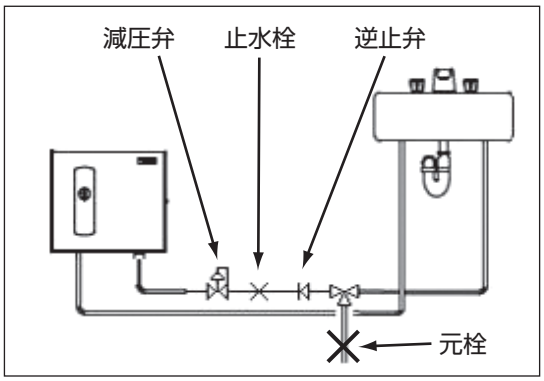
アルミテープ 50mm×460mm …… 2枚

カールプラグ…… 3個

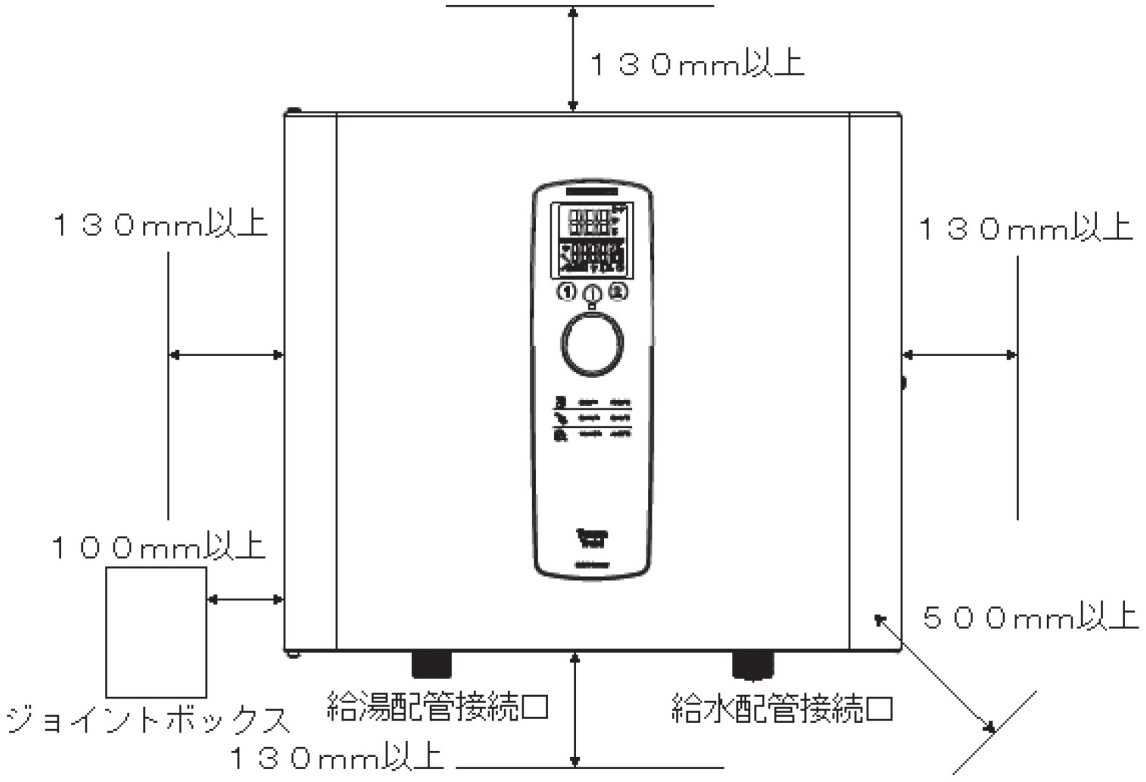
機器固定用ネジ…… 3本

3. 事前準備

①設置場所では凍結が生じないことを確認します。
②給水側の使用圧力（静止時）規定値を超える場合は、必ず給水配管接続口の手前に減圧弁を接続します。
③給水配管接続口の手前に、必ず止水栓と逆止弁を取り付けます。



④給水配管が機器の下側右より、給湯配管が機器の下側左よりに配管されていることを確認します。
⑤機器の離隔距離が確保できることを確認します。
⑥屋内配線が機器の設置位置から１００mm以上離れた場所から引き出してあることを確認します。

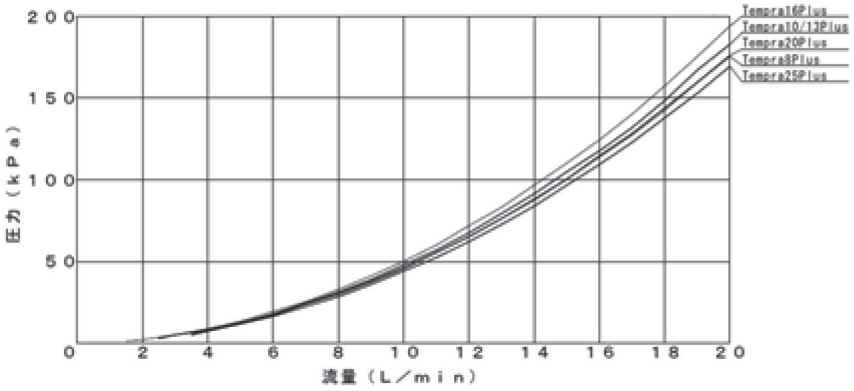


⑦機器のブレーカ、並びに屋内配線が機器の容量に適したサイズであることを確認します。

型　名		Tempra8 Plus	Tempra10 Plus	Tempra13 Plus	Tempra16 Plus	Tempra20 Plus	Tempra25 Plus
定格出力	kW	8.3	10.1	13.3	16.7	20.0	25.0
定格電流	単相　A	41,6	50.5	66.3	83.3	100	125
	三相　A	―				57.8	72.3
ブレーカ容量	単相　A	60	40×2	50×2	60×2	50×3	60×3
	三相　A	―				75	100

⑧D種接地のアース線が配線されていることを確認します。

⑨機器の最低流量（P.16「8．仕様」参照）を十分に確保できるように屋内配管を設計します。

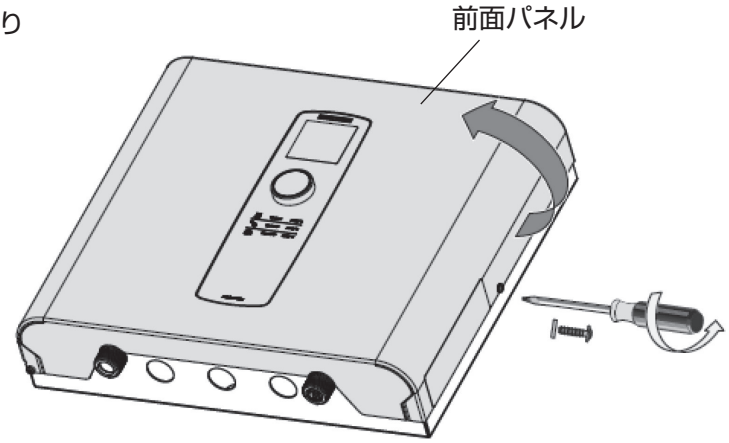


4．機器の設置工事

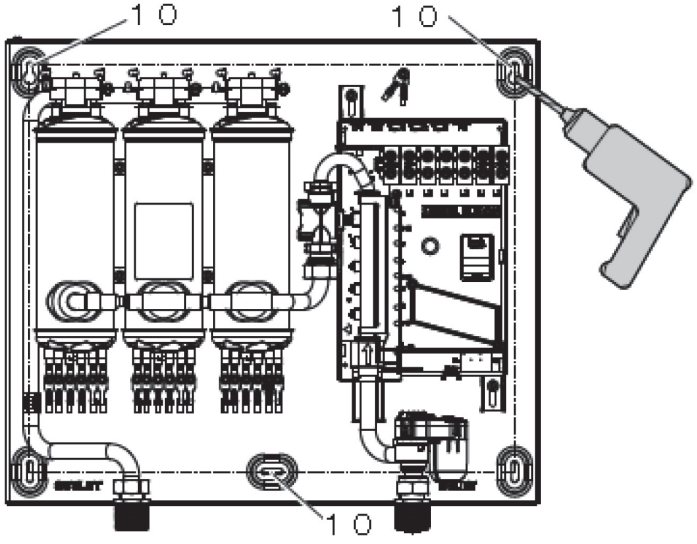
4－1．機器の固定

①機器右側面のφ４×６ネジをドライバーで反時計回りに回して外します。

②前面パネルを右側から手前に開きます。



③機器は、右図の「１０」の壁固定用ネジ穴３ヶ所に付属の壁固定用ネジ、またはφ４mmで壁の仕様に適切なネジで固定します。



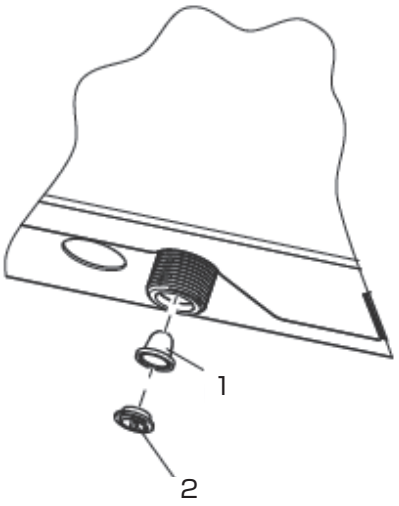
MEMO

●下部両端の壁固定用ネジ穴を利用する場合は、上下両端４ヶ所で壁に固定します。

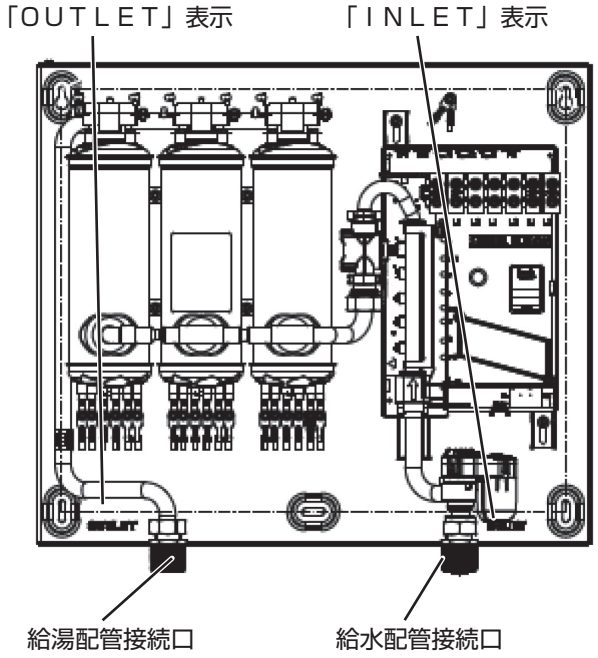
●付属のネジ以外を使用する場合は、満水時の機器の質量に耐えられる長さのネジを使用します。

4－2．配管接続

①給水配管接続口にストレーナを差し込みます。
②ストレーナの上からストレーナカバーを差し込みます。
　１：ストレーナ
　２：ストレーナカバー



③給水配管接続口に給水配管を接続します。
④給湯配管接続口に給湯配管を接続します。



ご注意

●給水／給湯配管接続口は、３／４ＮＰＴです。それに適した配管を接続してください。
●配管接続時に内部配管に余分な圧力をかけないでください。

４－３．配線接続

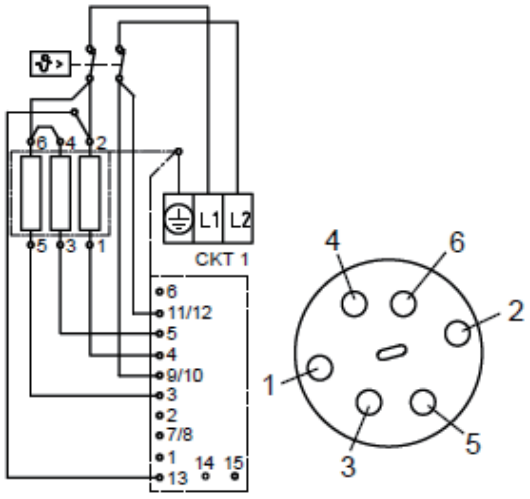
４－３－１．単相配線の接続方法

①ヒーター毎に回路を分けて接続します。
（Tempra8Plusを除く。）
②電源ケーブルの被覆を３８０mm剥いて、機器内部に電源ケーブルを引き込みます。
③電源ケーブルは、型名毎の結線図に従い、下図の「Ｌ１」、「Ｌ２」の端子に接続します。
④アース線は、アースマークが付いている端子に接続します。
⑤電源ケーブルを接続後、必ず端子台の一次側と二次側の端子を増締めします。

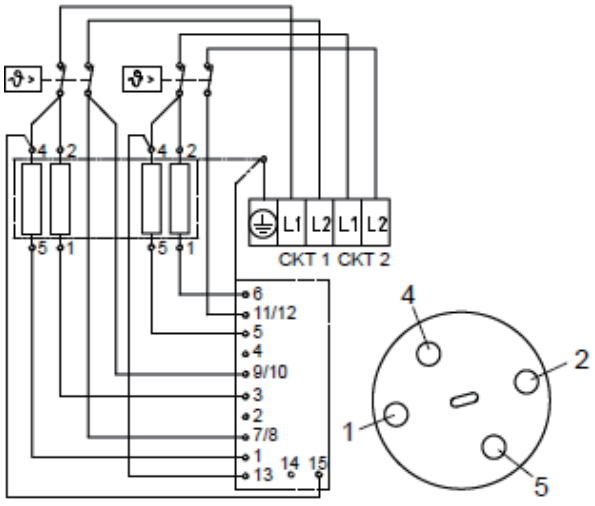
ご注意

●端子台へ接続する棒端子のサイズは□3.5mm以下にしてください。

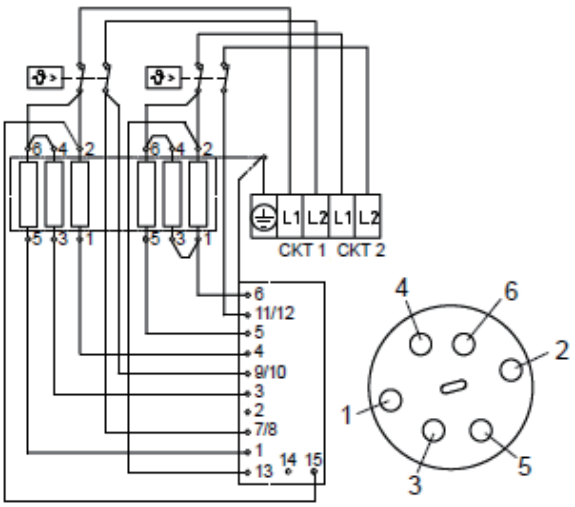




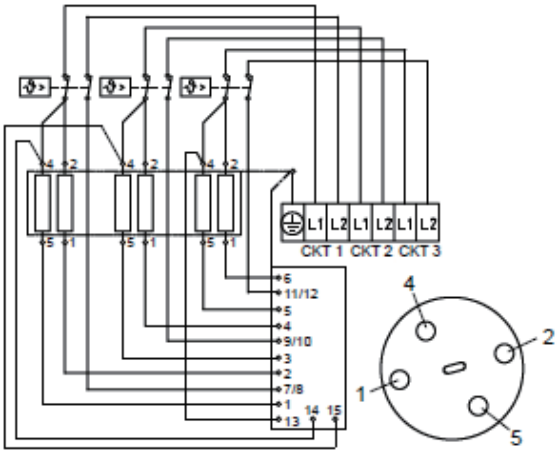
Tempra8Plus 結線図



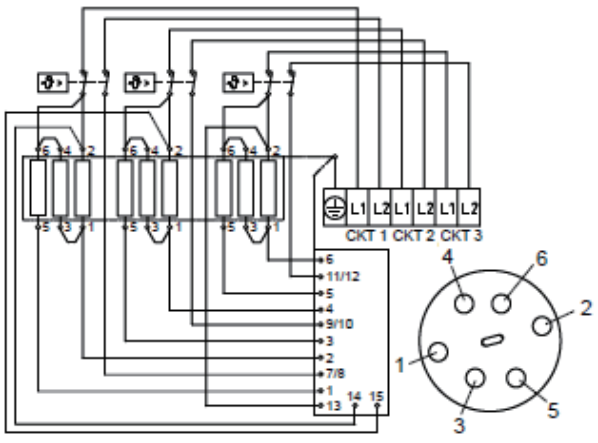
Tempra10/13Plus 結線図



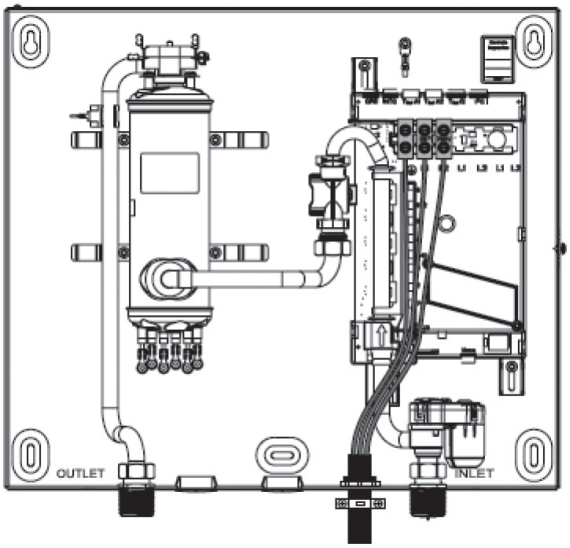
Tempra16Plus 結線図



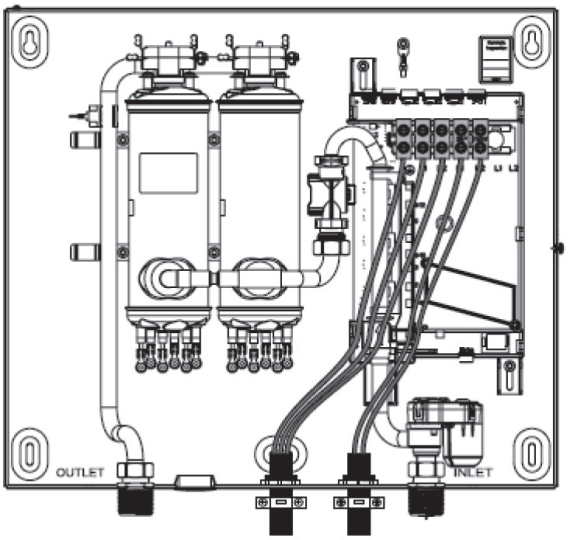
Tempra20Plus 単相結線図



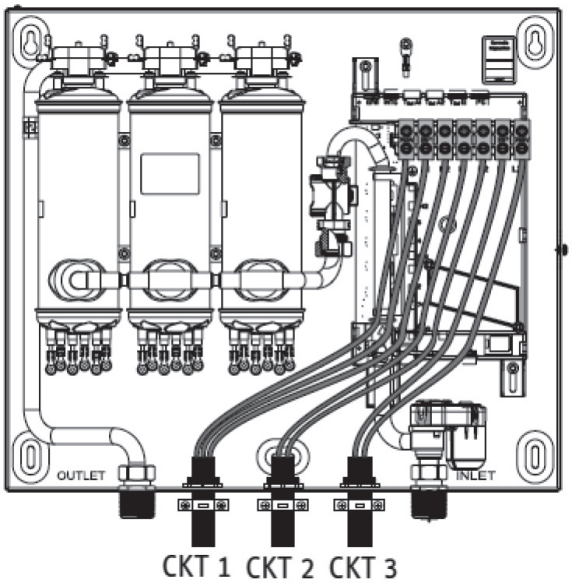
Tempra25Plus 単相結線図



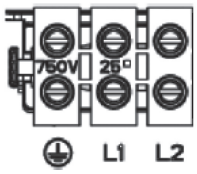
Tempra8Plus 回路図



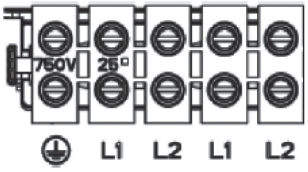
Tempra10/13/16Plus 回路図



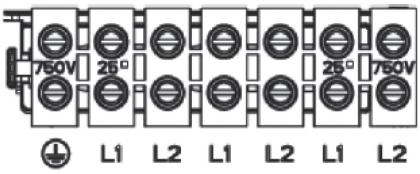
Tempra20/25Plus 回路図



Tempra8Plus の端子



Tempra10/13/16Plus の端子



Tempra20/25Plus の端子

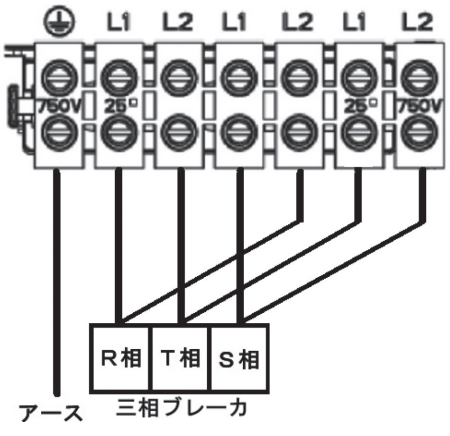
4－3－2．三相配線の接続方法

①ブレーカなどで各相を２本に分岐します。

②機器の端子に対して、１本の電源ケーブルを配線するようにします。

ご注意

●端子台へ接続する棒端子のサイズは□3.5mm以下にしてください。



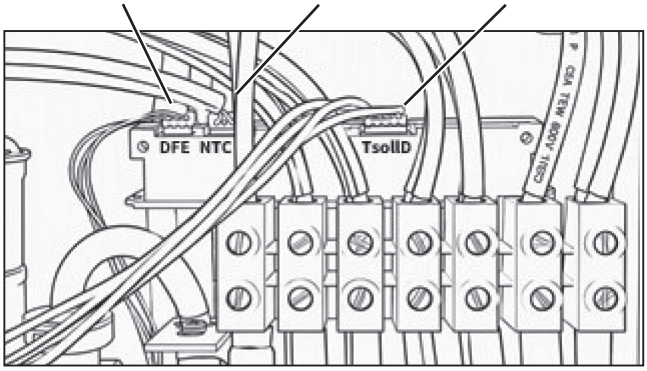
Tempra20/25Plus 三相回路図

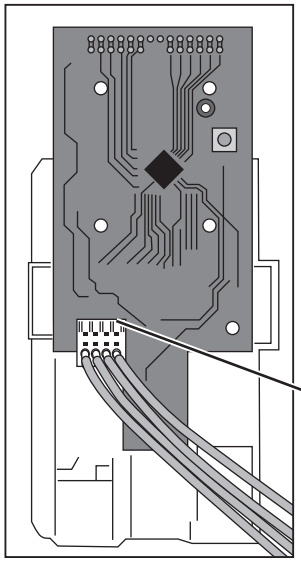
5．試運転

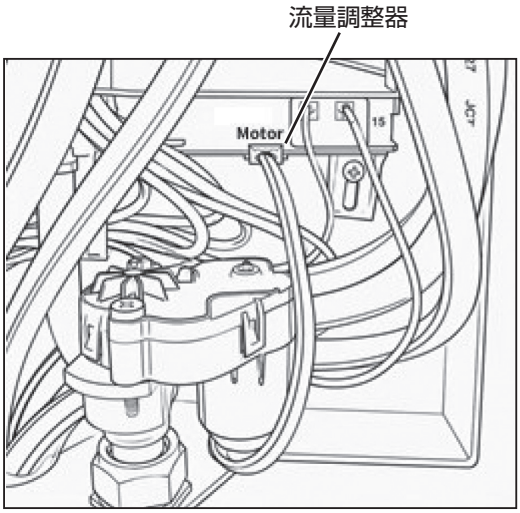
5－1．検査項目

①各コネクタが基板に正しく接続されていることを確認します。

部品	基板への接続位置
フローセンサー	ＤＦＥ
温水温度センサー	ＮＴＣ
表示部基板	ＴｓｏｌｌＤ
流量調整器	Ｍｏｔｏｒ

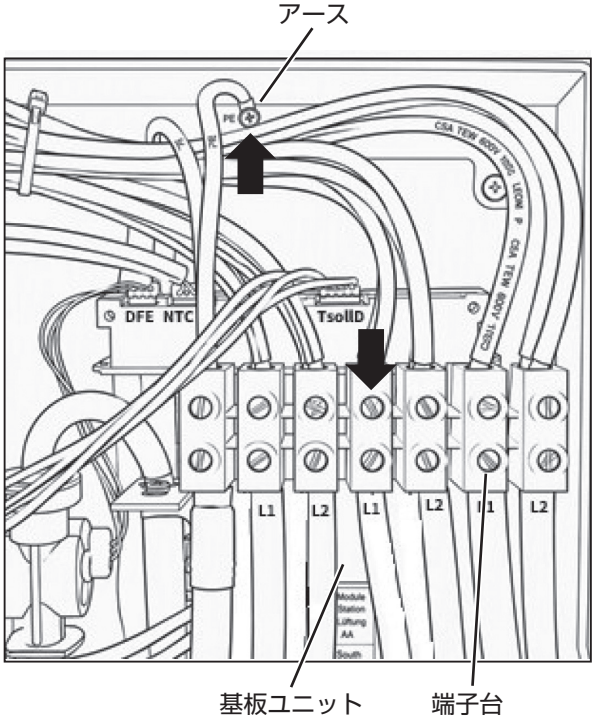






MEMO

●コネクタは、必ずハーネス側が手前になるよう差し込んであります。ハーネスが奥側を向いている場合は向きを手前側に直します。

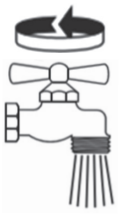


②端子台や、基板ユニット上にホコリ等がないことを確認します。

③機器のブレーカが「切」（ＯＦＦ）の状態で、アースと「Ｌ１」、「Ｌ２」の端子間で絶縁抵抗が１ＭΩ以上であることを確認します。

④前面パネルを閉じ、φ４.６のネジで固定します。（P.23　４－１項の逆手順）

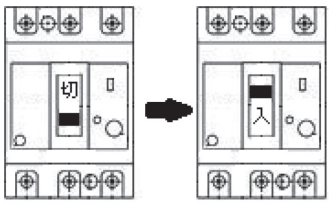
⑤機器のブレーカが「切」（ＯＦＦ）の状態で、機器が接続してあるお湯側の蛇口を開き、気泡が出なくなるまで、かつ６０秒以上水を流します。
また、屋内配管、並びに機器の給水／給湯配管接続口から水漏れ等がないことを確認します。



ご注意

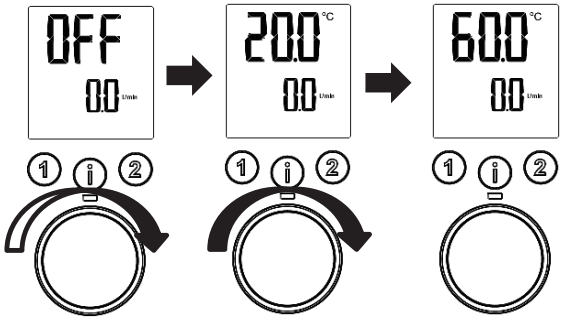
●●給水の元栓を「閉」にした場合等は、必ず⑤項を実施して、機器内部が満水であることを確認してください。

⑥機器のブレーカを「入」（ＯＮ）にして、ディスプレイが点灯すること、メインディスプレイの温度表示が摂氏（℃）、サブディスプレイの流量表示がＬ／ｍｉｎであることを確認します。



⑦温度調節ダイヤルを回して、ＯＦＦ、２０℃～６０℃の範囲で温度が設定できることを確認します。

⑧通電ランプが点灯している状態で、電流値を計測して、その値が適正であることを確認します。



●定格電流値表

＊許容電流値は±10%です。

型　名		Tempra8 Plus	Tempra10 Plus	Tempra13 Plus	Tempra16 Plus	Tempra20 Plus	Tempra25 Plus
定格電流（A）	単 相	41.6	50.5	66.7	83.3	100	125
	三 相	―				57.8	72.3

⑨付属のアルミテープ50mm×460mm２枚で上部天板の部材間の隙間を目張りし、両側に20mm程度折り返すように貼付けます。

おねがい

●付属のアルミテープを剥がした場合は、新たに市販のアルミテープ（幅50mm長さ460mm厚み0.1mm）を２枚貼ってください。

５－２．引き渡し前検査記録表

担当会社名			
担当者名			
設置機種			
項目	項目	確認内容	結果記入欄
③	絶縁抵抗	ＤＣ５００Ｖで測定した絶縁抵抗値を記入	
⑥	ディスプレイ表示	ディスプレイの表示が点灯することを確認	
⑦	給湯温度設定	温度表示がＯＦＦ→２０℃～６０℃と切り替わることを確認	
⑧	電流値	電流値を記入	
	給湯	お湯が出ることを確認	
⑨	アルミテープ	機器の上面にアルミテープを貼ったことを確認	
－	離隔距離	機器の離隔が守られていることを確認	
備考			

保 証 書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記型名の機器の無料修理を行うことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。取付け日から１年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル（株）に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ	
	お名前　　様	
お取扱い店	社名　　印 〒 住所	取扱者 印
	電話（　　）　　－	
取付け日	年　　月　　日	

型　名	Tempra　8 Plus Tempra 10 Plus Tempra 13 Plus Tempra 16 Plus Tempra 20 Plus Tempra 25 Plus	
製造番号	－　　－	
保証期間	製　品	取付け日から 1 年

機器は取付け日から１年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、取付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈無料修理規定〉

１．お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間内は無料修理いたします。

２．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル（株）にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。

「取付け日」の記載がない場合、日本スティーベル（株）の出荷記録に基づいて、出荷日を「取付け日」として起算します。

３．ご転居等、取付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル（株）にご相談ください。

４．保証期間内でも次の場合は有料修理となります。

（A）修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。

（B）使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。

（C）取付け後の移設、及び取付説明書に基づいた取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。

（D）火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。

（E）指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。

（F）一般の建物以外（例えば車輌・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。

（G）砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。

（H）消耗部品の交換、及び保守等の費用。

（I）本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

５.以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。

（A）理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。

（B）機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。

６．本書は日本国内においてのみ有効です。

７．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

SNS、Youtubeチャンネルのご案内

新製品紹介、お役立ち情報等を配信しています。フォロー、いいね！ チャンネル登録をよろしくお願いいたします。

@nihonstiebel
製品のご案内、ご採用事例の紹介等

日本スティーベル（Nihon Stiebel）
製品のご案内、ご採用事例の紹介等

日本スティーベル株式会社
機器の設定、お手入れ、施工動画等
ご利用者様へのインタビュー動画等

STIEBEL ELTRON

https://www.stiebel-eltron.co.jp
製品一覧、会社概要、カタログ、取扱説明書・
取付説明書、仕様図のダウンロード

日本スティーベル株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目9番2号
TOKYO Y.Bビル 2階

TEL：03-5715-4655
（営業時間外・土日・祝日及び特定休業日を除く）

■製造者 STIEBEL ELTRON

機器の仕様、外観、及び価格は、予告なく変更する場合があります。

本書の内容、所在地、電話番号は、予告なく変更になることがありますので予めご了承ください

商品コード
326134

T4190101
20251026F